

YANMAR



取扱説明書

ヤンマートラクタ

キャビン仕様

US31・US35

US39・US45



ヤンマー農機株式会社

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書はあなたの機械を常に最良の状態に保ち、安全な運転作業をしていただくために、正しい取扱い方法と簡単な手入れについて説明してあります。ご使用前によくお読みいただき、十分理解してからご使用していただき、安全で上手な作業にお役立てください。

また、お読みになった後も大切に保管し、本製品を末長くご使用いただけますようにご活用ください。

なお、品質・性能向上およびその他の事情による部品等の変更で、取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

この取扱説明書は、キャビン仕様のみの説明しておりますので、トラクタ本機の取扱説明書と合わせてお読みください。

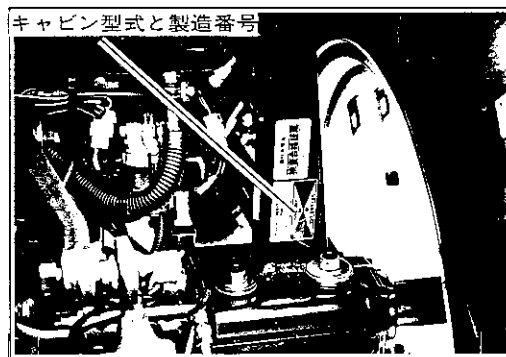
補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては納期などについて、御相談させていただきます場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給の御要請があった場合には、納期および価格について御相談させていただきます。

サービスと保証について

機械の不具合は、早期発見するように心がけ、適切な整備をしてください。機械の調子が悪いときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社支店までお気軽にご連絡ください。その際「型式名と製造番号」を合わせてご連絡ください。



※トラクタ本機型式名と製造番号については、トラクタ本機の取扱説明書をごらんください。

使用マークについて



安全に作業をしていただくため、ぜひ「これだけは守っていただきたいこと」を説明しています。

【注意】

本機の作業性能を最大限に発揮させるための説明をしています。

	サービスと保証について	1
	大型特殊自動車としての取扱い	3
1	各部のなまえ	4
	各部のはたらき	5
	1. ドアの開閉のしかた	5
	2. フロントウインド・リヤウインド・ サイドウインドの開閉のしかた	5
	3. スイッチの使いかた	7
	4. ヒューズの点検・交換について	8
	5. 空調機器の使いかた	9
	6. クーラーの取扱い	10
	7. クーラーの使い方と注意	10
	8. 燃料計と残量警告灯について	11
9. FM・AM付ラジオカセットの 使いかた	11	
10. その他	11	
2	手入れと点検・調整	10
	1. ボンネットとエンジンサイド カバーの開閉のしかた	12
	2. クーラーコンプレッサー駆動ベルトの 点検について	13
	3. フィルターの清掃のしかた	14
	4. クラッチの点検・調整について	14
	5. ドアストッパーの点検について	15
6. マフラー角度の調整について	15	
	配線図	16

大型特殊自動車としての取扱い

このトラクタは、大型特殊自動車として、次の手続きが必要です。くわしいことは、お買上げいただいた販売店にご相談ください。

登録について

大型特殊自動車として登録申請し、ナンバープレートの交付を各陸運事務所で行わなければなりません。

自動車保険

大型特殊自動車の運行には、自動車損害賠償責任保険が必要です。

免許

このトラクタの運転には、大型特殊自動車の免許が必要です。（自動車の普通免許では運転できません。）道路走行時には、必ず免許証と、自動車検査証を所持してください。

車検

自動車検査証の有効期間は、2年間です。有効期間が切れるまでに車検を受けなければなりません。

整備

このトラクタを運転する場合、1日1回は運転の前に点検を行なってください。また、6箇月ごとに点検整備をしなければなりません。

輪距

道路走行は、必ず次の輪距にして走行してください。これを怠ると、「道路運送車両の保安基準」違反になり、道路走行はできません。

<キャビン仕様の場合>

(単位：mm)

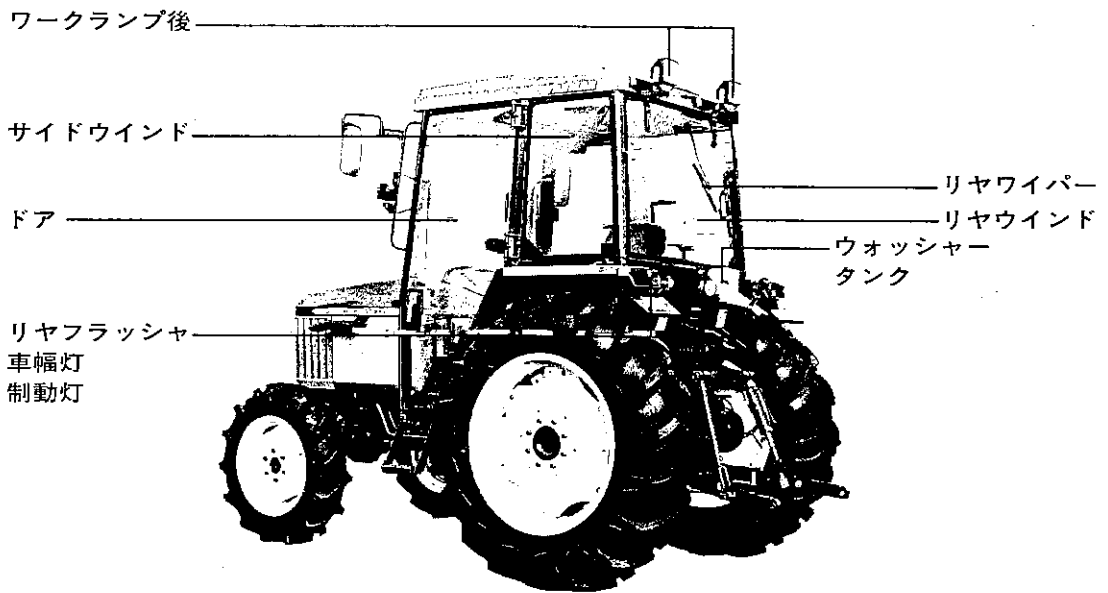
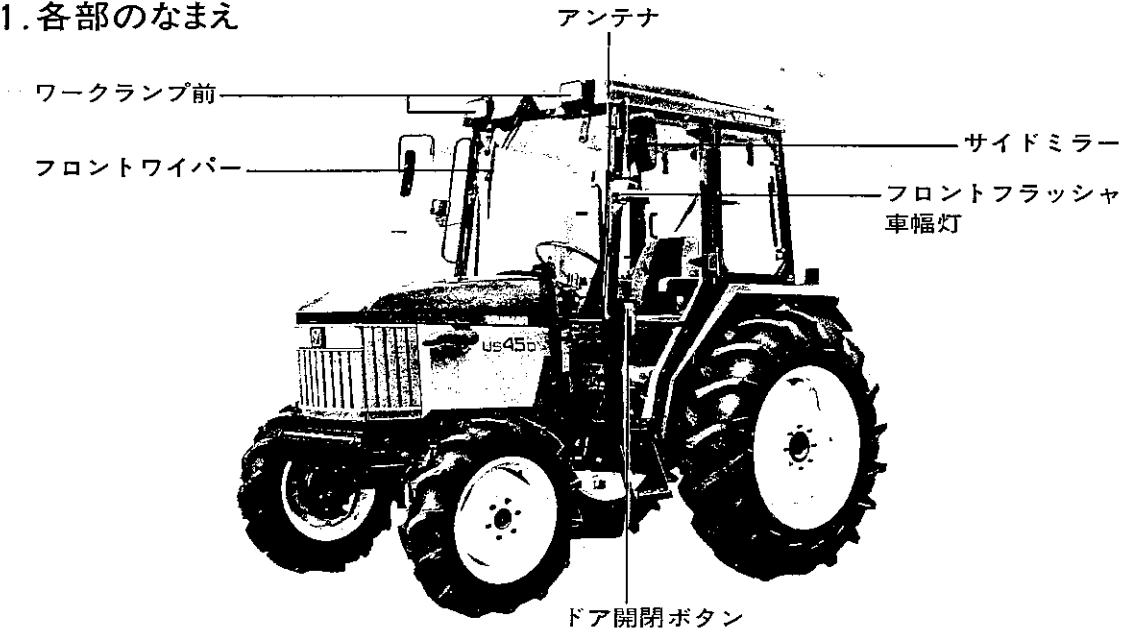
型 式	前 輪		後 輪	
	タイヤサイズ	輪 距	タイヤサイズ	輪 距
US31	7-16	1260	12.4-26	1150
			11.2-28	1185
US35	8-16	1250	12.4-28	1260
			13.6-26	
US39	8-16	1250	12.4-28	1370
			13.6-26	
US45	8-18	1270	13.6-28	1370
	9.5-16	1300		

各部のなまえ

説明図は、本機US45を基準にしています。



1. 各部のなまえ



キャビン仕様の装備

1	フロントワイパー	5	リヤワイパー
2	ヒーター	6	クーラー
3	ラジカセ(AM・FM電子チューナー付)	7	ワークランプ前(2灯)
4	ワークランプ後(2灯)	8	ルームランプ

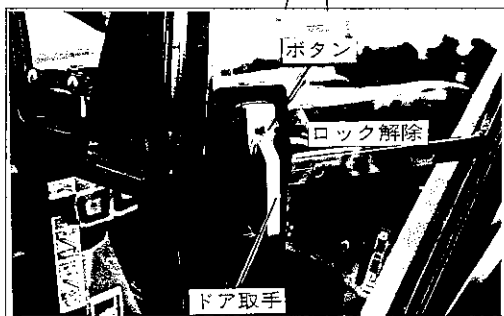
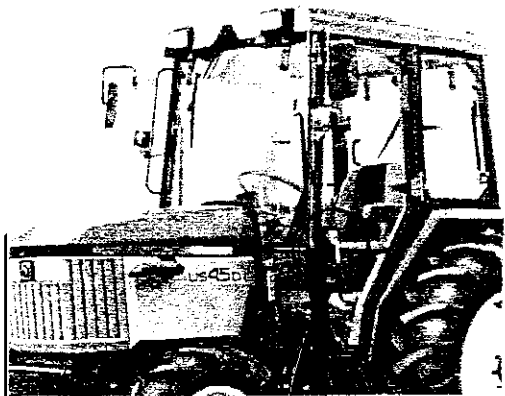


各部のはたらき — なまえとはたらきをよく覚えてください。

1. ドアの開閉のしかた

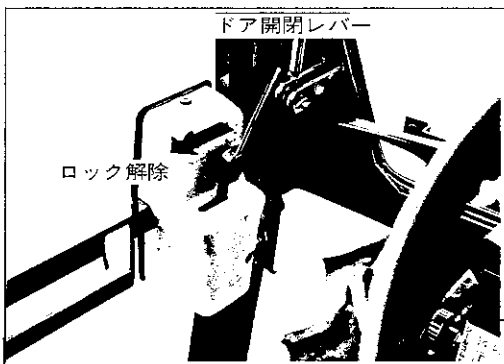
車外から

左右とも、ドア取手のボタンを押すとロックが解除されて、ドアが開けられます。



車内から

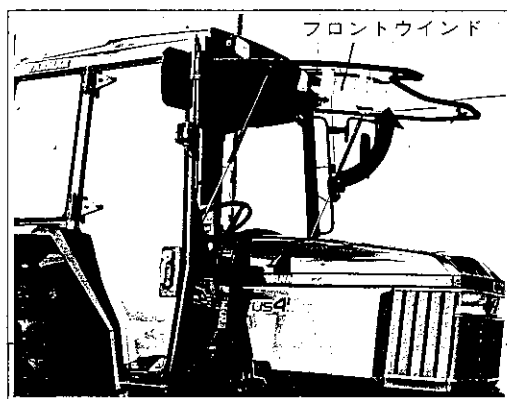
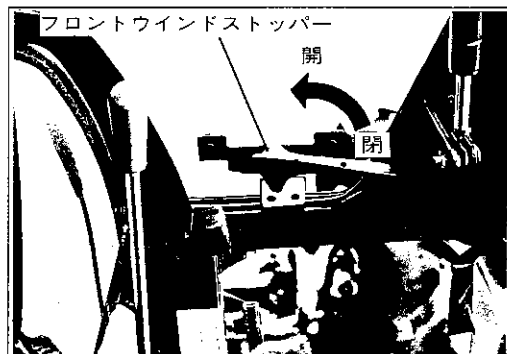
左右とも、ドア開閉レバーを後方に引くと開閉できます。



2. フロントウインド・リヤウインド・サイドウインドの開閉のしかた

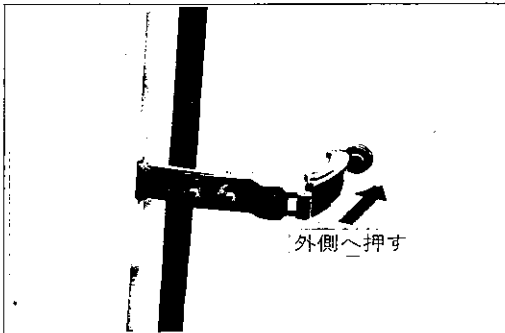
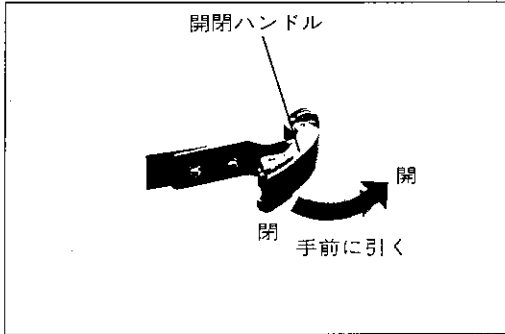
フロントウインドの開閉のしかた

左右のフロントウインドストッパーを「開」方向に回し、フロントウインドを上に押し上げてください。



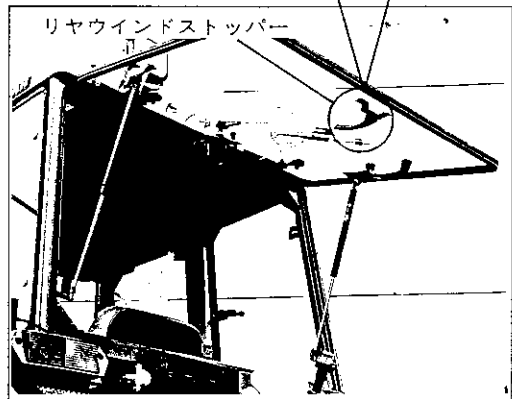
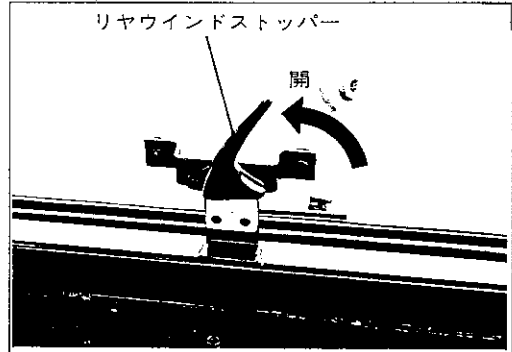
サイドウインドの開閉のしかた

開閉ハンドルを手前に引き、外側へ押して開閉を行います。

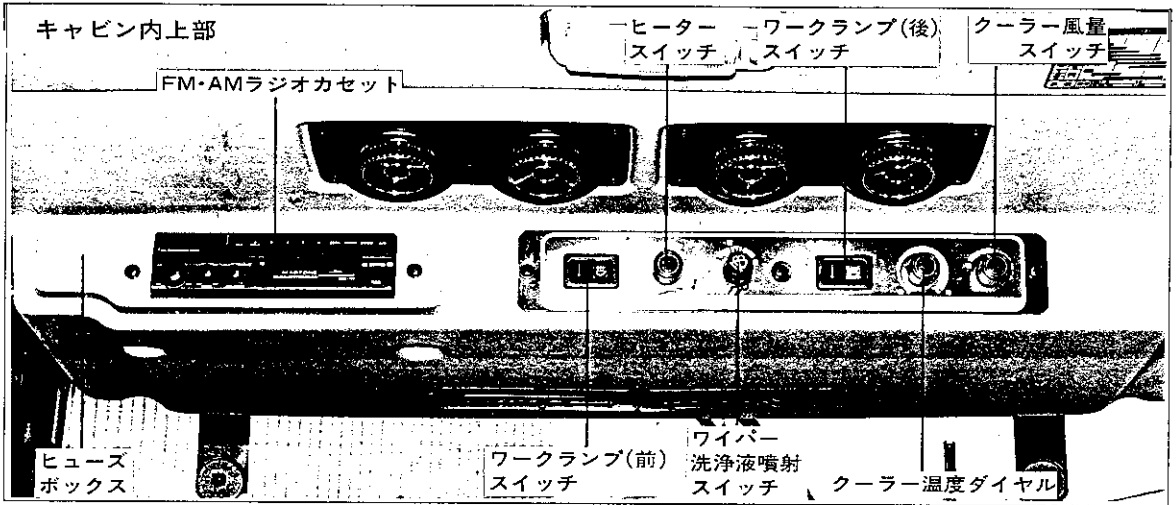


リヤウインドの開閉のしかた

リヤウインドストッパーを開方向に回し、リヤウインドを上に押し上げてください。

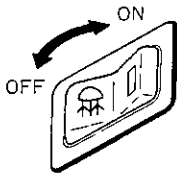


各部のはたらき——なまえとはたらきをよく覚えてください。



3. スイッチの使いかた

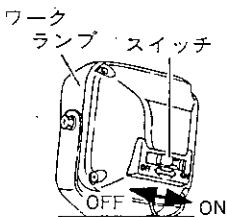
ワークランプスイッチ (前・後)



スイッチを「ON」方向へ押すと、ワークランプが点灯します。

【注意】

- ワークランプ(後)本体裏側のスイッチ「ON」の状態では、キャビン内のワークランプスイッチで切替えます。「OFF」の状態では、キャビン内のスイッチを「ON」にしても、ワークランプは点灯しません。

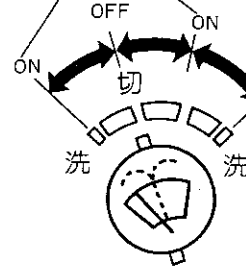


- 道交法により道路走行時、ワークランプの点灯は違反になりますので必ず消灯してください。
- エンジン停止状態でワークランプを長時間使用すると、バッテリー容量が低下しエンジンの始動ができなくなります。

ワイパー洗浄液噴射スイッチ

<フロントワイパー>

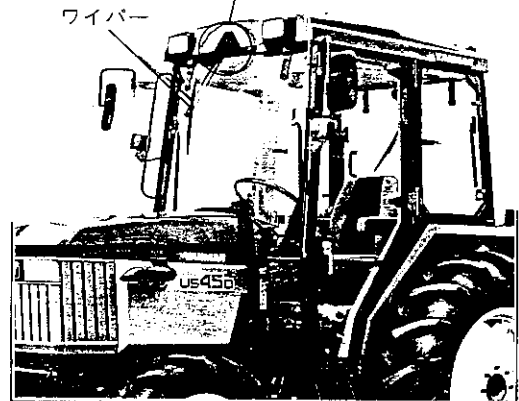
洗浄液噴射—ワイパー作動
スイッチを回している間、噴射
スイッチを回し「ON」方向へ回します。



洗浄液噴射 + ワイパー
スイッチを回している間、洗
浄液が噴射し、ワイパーが作動
します。

ウォッシャー

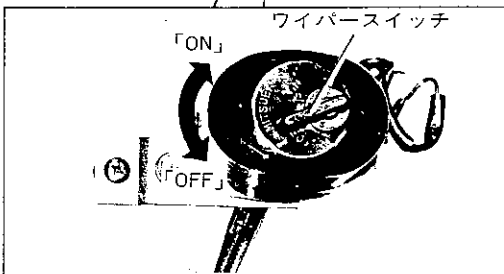
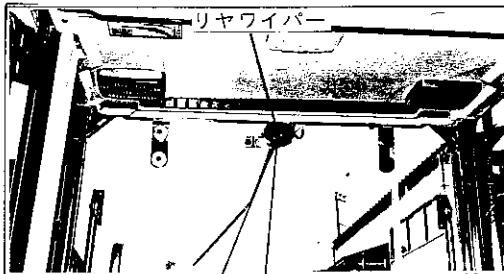
ワイパー



各部のはたらき——なまえとはたらきをよく覚えてください。

＜リヤワイパー(ワイパーのみ)＞

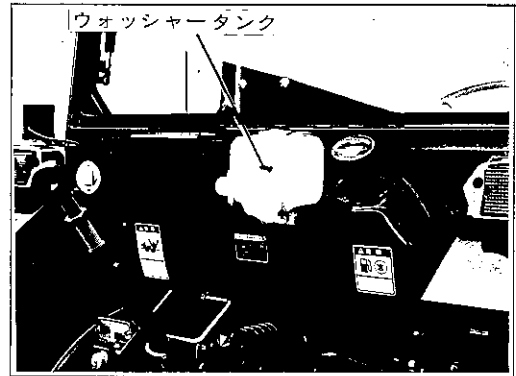
ワイパースイッチを「ON」にすると、ワイパーが作動します。



【注意】

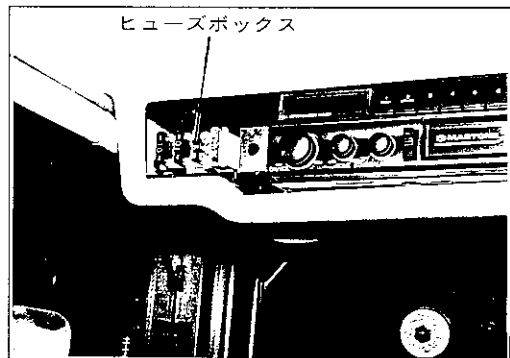
- ワイパーを止めるときは、メインスイッチが「ON」の状態ではワイパースイッチを、「OFF」にしてください。
- 空ぶきは、ガラス面に傷をつけたり、ワイパーをいためますので洗浄液を噴出してください。
- 洗浄液が出ない時は、スイッチを切ってください。洗浄液が出ない状態で作動させるとウォッシャーモータの故障原因になります。
- 寒冷時、ワイパーブレード(ゴム部)がガラス面は張りつくことがあります。このまま作動させると、ワイパーが破損しますのでヒータで前面ガラスを暖めてください。
- エンジン停止状態で、ワイパーを長時間使用するとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ウォッシャータンクは、フレーム本体後側(右側)に取付けられています。タンク容量は約1.2ℓで、水と液の割合は約1：1にします。



4. ヒューズの点検・交換について

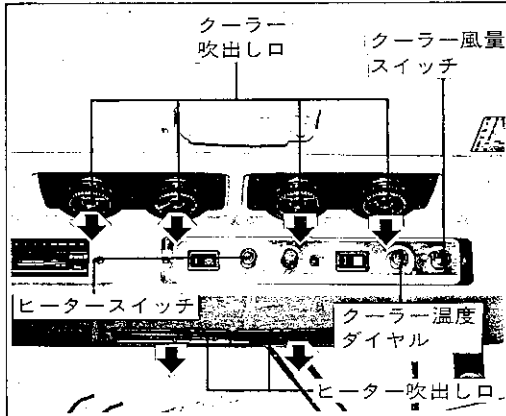
ヒューズボックスの蓋を外して、ヒューズを点検してください。切れていれば、規定容量のものと交換してください。



ヒーター	ワイパー	クォーラ	フラインクフ	ヒューズ
10A	10A	15A	20A	
ラジカセ(本体製)	メイン	3A	1A	

ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、お買い上げいただいた販売店、または農協で点検を受けてください。

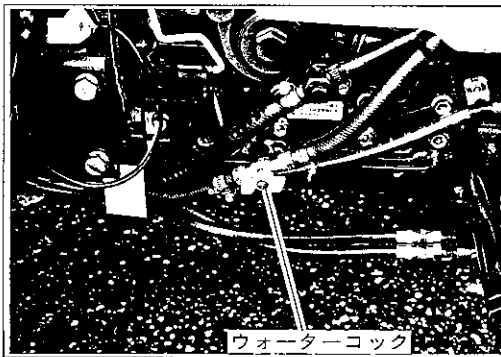
5. 空調機器の使いかた



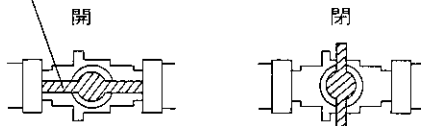
ヒーター

【注意】

- ヒーターを使う場合は、エンジン右側下部のウォーターコックを開けてください。



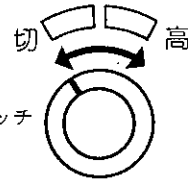
ウォーターコック



1016548A

ヒーター(暖房)スイッチを右に回転すると2段階の風量を選択できます。

また、フロントガラスの曇り止めとして使う場合は、吹出し口のグリルをフロントガラス側に向けて温風を吹き付けてください。

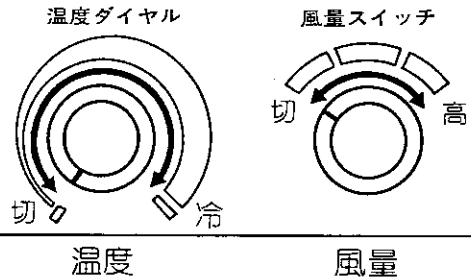


ヒータースイッチ

クーラー

クーラーの風量スイッチを右に回転するとクーラーが作動し、3段階の風量を選択できます。

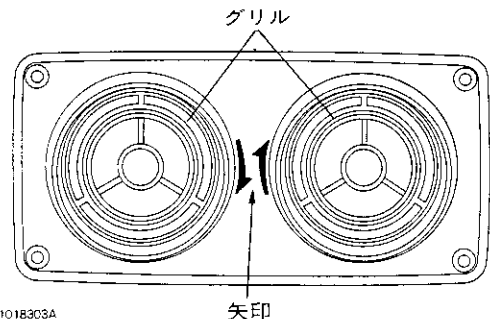
また、冷房温度の調節は温度ダイヤルによって調節することができます。



1016536D

〈クーラー吹出し口の風量調節のしかた〉

吹出し口のグリルを矢印の方向(右回転)に回転すると風量が多くなり、反回転(左回転)にすると風量が少なくなります。



1018303A

【注意】

- クーラーを使う場合は、ウォーターコックを閉めてください。
- クーラースイッチ「ON」の状態では風が出ない、風力が弱い状態が続いたり、または冷房不良の場合はクーラースイッチを「OFF」にしてください。
- 異常な状態での連続運転は、プロアモーターやコンプレッサの損傷につながります。お買い上げいただいた販売店または、農協で点検を受けてください。

6. クーラーの取扱い

〈長期間、使用しない時〉

- クーラーサイクル内の冷媒ガスは規定量入れておいてください。
- 2～3週間毎に1～2回クーラーを作動させて、コンプレッサおよびクーラーサイクル部品の油切れがないようにしてください。
コンプレッサでは内部ベアリングの片当りが防止されます。

〈クーラーを使用しない時〉

- クーラーの温度ダイヤルと風量スイッチは「OFF」位置にしておいてください。

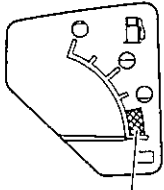
7. クーラーの使い方と注意



下記の事項を必ず守ってください。

- クーラーはコンプレッサに無理な力を掛けないように、エンジンの始動後に「ON」させてください。
エンジンが円滑に廻ってから「ON」させるようにしてください。
- 炎天下の放置状態からクーラーを使う場合は、一度窓を開けて、室内空気を入れかえてから行ってください。
- タバコを吸って使用している場合、目が痛くなることがあります。このようなときには窓を少し開け、外のきれいな空気を入れてください。冷房中は湿度が低くなり目の粘膜が乾きぎみになるため、タバコの煙は刺激的になります。
- 湿度の高い時期は、窓ガラスが曇りやすくなります。
このようなときにはクーラーとヒーターおよび外気の導入を上手に行って曇りを取り除いてください。
- 吹き出し口から霧が吹き出す場合がありますが、これは湿った空気がクーリングユニットのエバポレータを通過する際、水粒子が凍って吹き出されるためです。

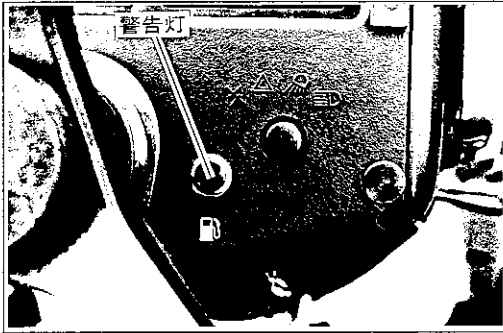
8. 燃料計と残量警告灯について



赤色区域

燃料の残量を指針で知らせます。針が赤色区域を示した場合は早めに燃料を補給してください。

燃料の残量が3ℓ以下になると、警告灯が点灯します。



9. FM・AM付ラジオカセットの使いかた

FM・AM付ラジオカセットの取扱説明書をお読みください。

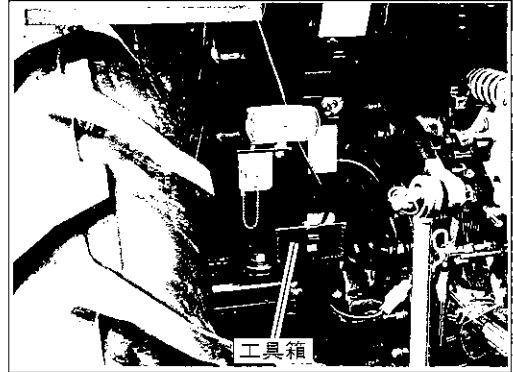
【注意】

- ラジオを聞くときは、アンテナを伸ばしてください。
- 車庫や倉庫など高さの低い場所を通るときは、アンテナを下げてください。

10. その他

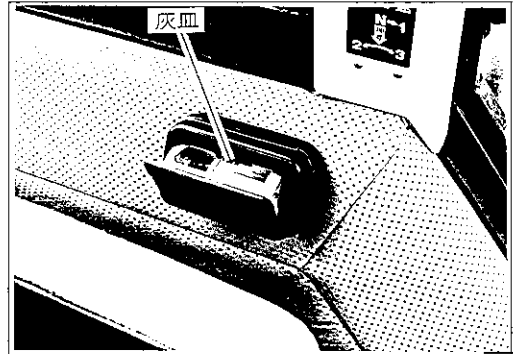
工具箱

後部ライセンスブラケットの下部にあります。



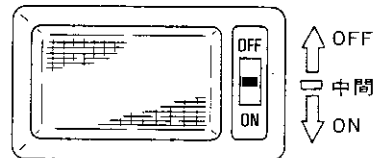
灰皿

キャビン左側のサイドウインドの下にあります。



ルームランプ

ルームランプは、スイッチ「ON」の位置で点灯します。中間位置と「OFF」の位置では消えた状態です。



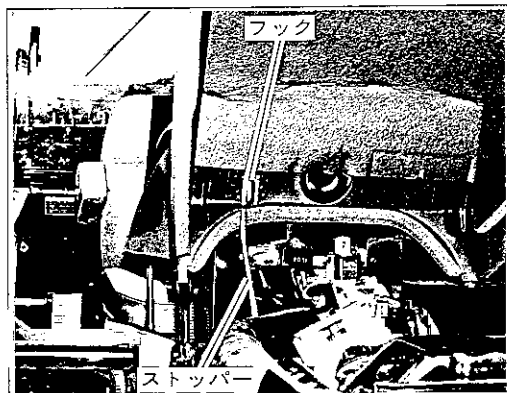
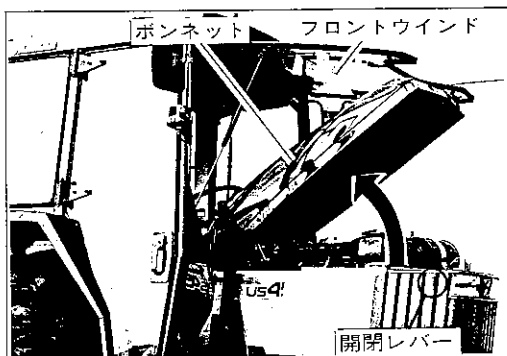
1015003C

手入れと点検・調整

1. ボンネットとエンジンサイドカバーの開閉のしかた

ボンネットの開けかた

- ①フロントウインドのストッパーを解除し、フロントウインドを開けます。
- ②ボンネット右側の開閉レバーを引いて、ロックを外します。次にボンネットを持ち上げて、ストッパーをフックに掛けて固定します。



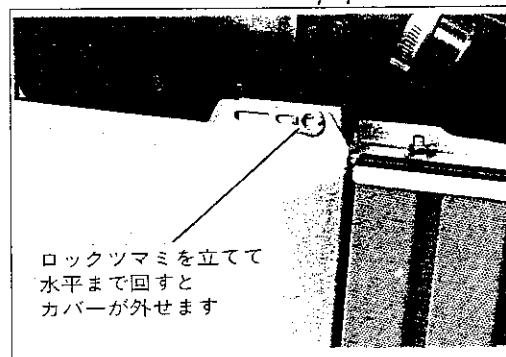
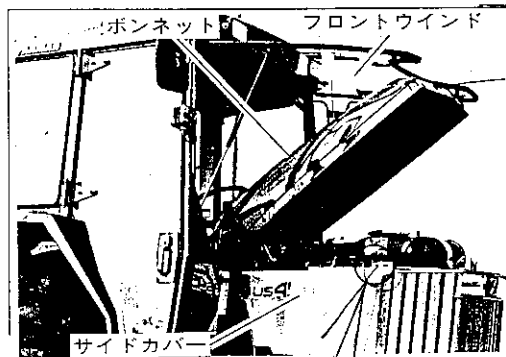
ボンネットの閉めかた

ストッパーをフックから外して、クリップに固定します。

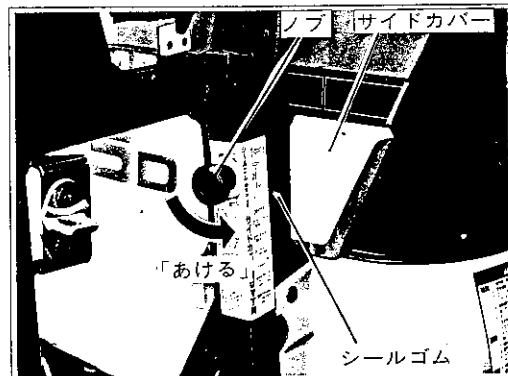
ボンネットを静かに降し、ロックします。

エンジンサイドカバーの開けかた

- ①フロントウインドを上げ、ボンネットを開けストッパーで固定します。
- ②ロックつまミ(前後2箇所)を起こして回し、水平位置にします。

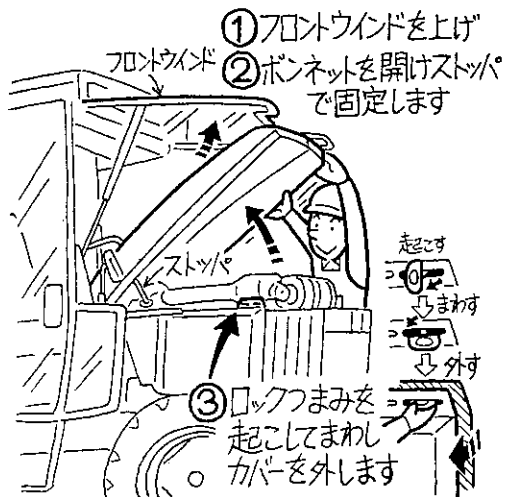


- ③ノブを銘板の「あける」方向に回し、サイドカバーを押えているシールゴムを離します。



④十分に隙間をあけてから、サイドカバーを外します。

このとき、サイドカバーの後部を少し持ち上げるようにして、前部から外すと容易に取外しができます。



1018305A



1018305B

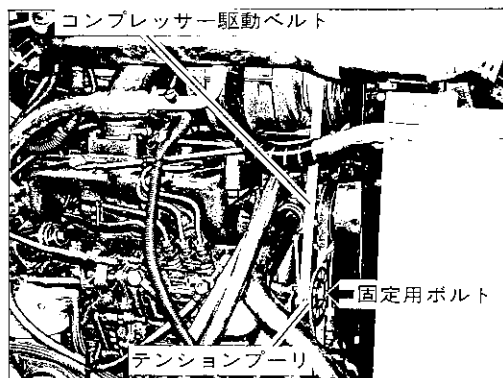
取付けは、取外しの逆の手順です。

2.クーラーコンプレッサー駆動ベルトの点検について

ベルトテンションとコンプレッサーの中間位置を指で押え、たわみ量が10～15mmであることを確認します。

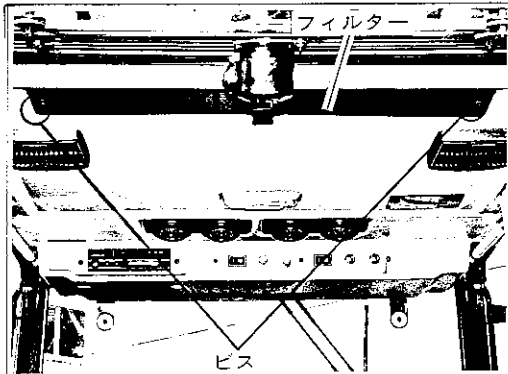
<調整方法>

テンションプーリの固定用ボルトをゆるめて、テンションプーリを移動させて張り調節します。調整後テンションプーリの固定用ボルトを締めてください。



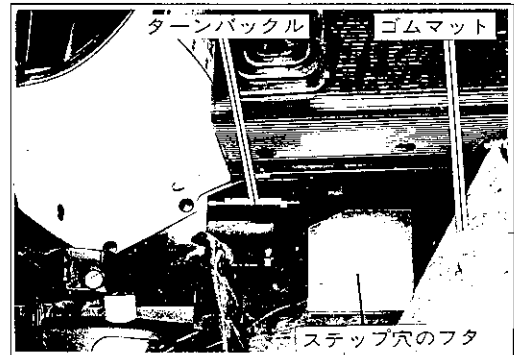
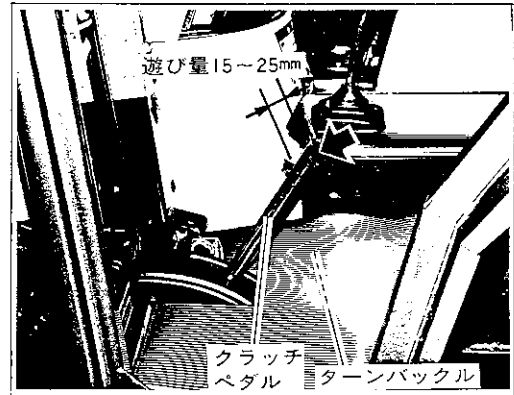
3. フィルターの清掃のしかた

ビスをゆるめて取外してください。フィルターを300時間ごとに清掃してください。また汚れがひどい場合は、交換してください。



4. クラッチの点検・調整について

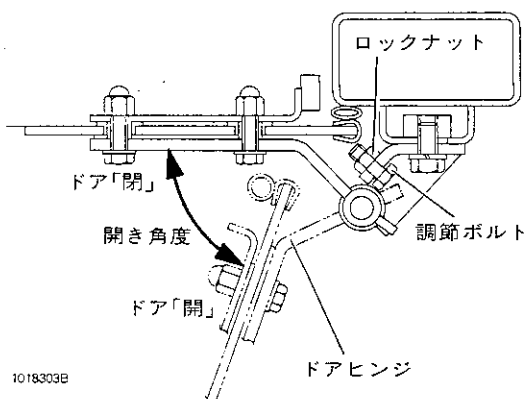
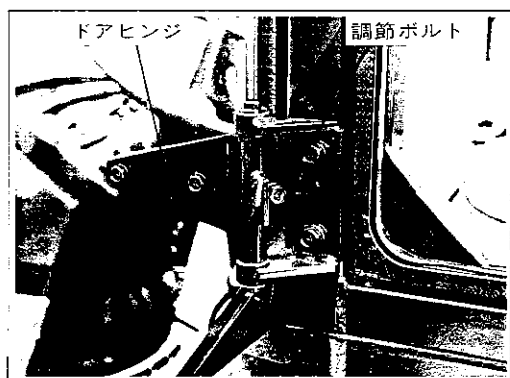
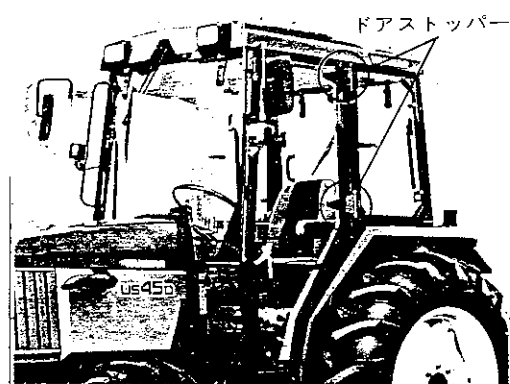
クラッチペダルを踏み込んで、規定の遊び量(15~25mm)があるかを調べてください。規定の遊び量でない場合は、遊び量が15~25mmになるように、クラッチペダル部分のゴムマット下部のターンバックルで調節してください。調節後はナットを確実に締付けてください。



5. ドアストッパーの調整について

〈ドア開き角度調節ボルト〉

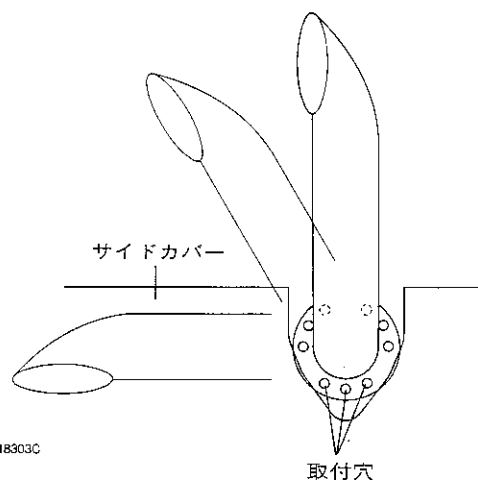
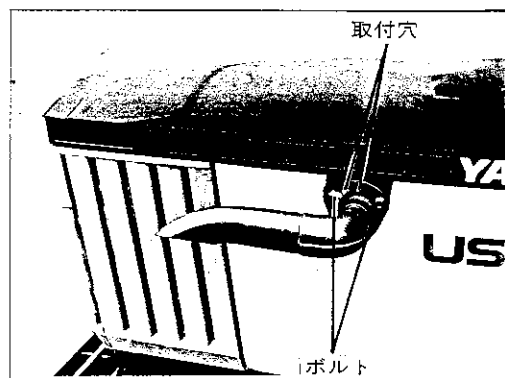
ロックナットを緩めて調節ボルトを回し、手前へ出すとドアの開き角度が小さくなります。左右ドアヒンジの上下にあります。タイヤトレッドを広げたり、水田補助車輪などを付けた場合などに、調節ボルトでドアの開き角度を調節すると便利です。



1018303B

6. マフラー角度の調整について

ボルトと取付穴の差替で調整できます。



1018303C

